

様式1-1 学位論文審査願の記入要領(甲)

平成 年 月 日

九州大学総長 殿

学位論文審査願

印

このたび博士の学位を受けたいので、九州大学学位規則第8条により、下記のとおり関係書類を添え、学位論文を提出いたしますから御審査ください。

記

1	主論文	1編	冊	2通	} 注3
2	参考論文	編	冊	1通	
3	論文目録				
4	論文要旨				
5	履歴書				

注1. 入学年及び区分について

(1) 同学府・同専攻に引き続き進学した場合

→「博士前期課程入学の年」を記入

(例1)

平成22年4月 九州大学 大学院理学府物理学専攻 博士前期課程入学

平成24年3月 " 修了

引き続き、平成24年4月 九州大学 大学院理学府物理学専攻 博士後期課程進学

→ 平成22年入学(博士前期課程入学の年)

(2) 同学府で、専攻が異なる進学の場合

→「博士後期課程進学の年」を記入

(例2)

平成22年4月 九州大学 大学院 理学府生物科学専攻博士前期課程入学

平成24年3月 " 修了

引き続き、平成24年4月 九州大学 大学院 理学府物理学専攻博士後期課程進学

→ 平成24年進学(博士後期課程進学の年)

(3) 異なる学府・専攻（博士後期課程）への進学の場合

→ 「博士後期課程進学の年」を記入

(例3)

平成22年4月 九州大学 大学院理学府物理学専攻博士前期課程入学

平成24年3月 // 修了

引き続き、平成24年4月 九州大学 大学院 工学府化学システム工学専攻博士後期課程進学

→ 平成24年進学（博士後期課程進学の年）

(4) 異なる学府の博士課程へ進学する場合

→ 「博士課程進学の年」を記入

(例4-1)

平成22年3月 九州大学 大学院 医学系学府 医科学専攻修士課程修了後、

引き続き、平成22年4月同大学 大学院 医学系学府 医学専攻博士課程進学の場合

→ 平成22年進学（博士課程進学の年）

(例4-2)

平成22年3月 九州大学 大学院 システム生命科学府 システム生命科学専攻修士課程修了後、

引き続き、平成22年4月 同大学 大学院 医学系学府 医学専攻博士課程進学の場合

→ 平成22年進学（博士課程進学の年）

(5) 九州大学医学部卒業後、引き続き、同大学 大学院 医学系学府博士課程へ入学する場合

→ 「博士課程入学の年」を記入

(例5)

平成22年3月 九州大学医学部卒業後、

引き続き、平成22年4月 同大学 大学院 医学系学府 医学専攻博士課程入学の場合

→ 平成22年入学（博士課程入学の年）

(6) 他大学大学院博士前期課程修了後、本学大学院博士後期課程へ編入学する場合

→ 「博士後期課程編入学の年」を記入

(例6-1)

平成22年3月 佐賀大学 大学院 工学系研究科 物理科学専攻博士前期課程修了

引き続き、平成22年4月 九州大学 大学院 理学府 物理学専攻博士後期課程編入学

→ 平成22年編入学（博士後期課程編入学の年）

(例6-2)

平成22年3月 佐賀大学 大学院 工学系研究科 物理科学専攻博士前期課程修了

平成23年4月 九州大学 大学院 理学府 物理学専攻博士後期課程編入学

→ 平成23年編入学（博士後期課程編入学の年）

(7) 本学学部を卒業後、または本学大学院修士課程修了後、期間において、博士後期課程へ編入学する場合

→博士後期課程編入学の年を記入

(例7)

平成11年3月 九州大学理学部卒業

平成23年4月 九州大学 大学院 理学府物理学専攻博士後期課程編入学

→ 平成23年編入学 (博士後期課程編入学の年)

(8) 組織編成に伴う名称変更の場合

→博士後期課程転科・転専攻の年を記入

(例8)

九州大学 大学院 医学系学府分子生命科学専攻博士課程

平成25年4月 九州大学 大学院 システム生命科学府 システム生命科学専攻博士課程

→ 平成25年転学府・転専攻 (博士後期課程転科・転専攻の年)

注2. 氏名

→履歴書記載の氏名と照合する。

外国人の場合、カタカナ表記 (漢字圏の学生は漢字) で記入する。

※ 氏名の順番等は、パスポートや在留カードと照合し、学籍氏名も含めてできるだけ統一させる。

※ 印鑑は、履歴書と同一のものを押印する (外国人の場合は、サインも可)。

注3. 主論文 1編 冊 2通 ← (規則で確定された項目)

参考論文 編 冊 1通 ← (編数は提出に合わせて記入する)

*参考論文を添付しない場合は、消線を付すこと。(例) 参考論文 ~~編 1冊 1通~~

※本学学位規則第8条第2項による早期修了者については、様式中も「第8条第2項」とすること。

(規則に記載のある様式では「第8条」のみであるが、掲載の重複を避けただけなので、「第8条第2項」と記載しても差し支えない。(法規係(現:法務・コンプライアンス係)に確認済))

様式1-2 学位申請書の記入要領(乙)

平成 年 月 日

九州大学総長 殿

本 籍 注1

氏 名 印

学 位 申 請 書 注2

貴学学位規則第16条により、博士の学位を受けたいので、下記のとおり関係書類を添え、学位論文を提出いたします。

なお所定の手数料を納入いたします。

記

1 主論文	1編 冊 2通	}	注3
2 参考論文	編 冊 1通		
3 論文目録			
4 論文要旨			
5 履 歴 書			

注1. 本 籍
 → 都道府県名（外国人は国籍（国名））のみを記入する。
 国名は、在留カードにある国名を原則とする。

注2. 氏 名
 → 履歴書記載の氏名と照合する。
 外国人の場合、カタカナ表記（漢字圏の学生は漢字）で記入する。
 ※ 氏名の順番等は、パスポートや在留カードと照合し、学籍氏名も含めてできるだけ統一させる。
 ※ 印鑑は、履歴書と同一のものを押印する（外国人の場合は、サインも可）。

注3. 主論文 1編 1冊 2通 ←（規則で確定された項目）
 参考論文 編 1冊 1通 ←（編数は提出に合わせて記入する）
 *参考論文を添付しない場合は、消線を付すこと。 （例）参考論文——編——1冊——1通

様式2「論文目録」及び 様式3「論文要旨」の作成にかかる留意事項（甲・乙共通）

1. 「論文目録」及び「論文要旨」は、本様式により、A4判用紙にワープロ浄書のこと。
2. 以下の①～④に記載する「論文名」はすべて一致させること。
 - ① 論文の「表紙」・「裏表紙」
 - ② 論文目録
 - ③ 論文の内容の要旨
 - ④ 論文審査結果の要旨
3. 論文名は、本文と同じ言語によるものとし、英語の場合は、和訳をカッコ書きで付記すること。
4. 英語の場合は、字体・文字の大小（大文字・小文字）についても統一させること。

(例)

 - (a) Molecular Analyses of Early Embryogenesis in ～
 - (b) Molecular analyses of early embryogenesis in ～
 - (c) MOLECULAR ANALYSES OF EARLY EMBRYOGENESIS IN ～

例えば (a) にする場合は、①～④全て (a) に統一する。
5. 氏名も同様に統一すること。（①～④）

(例) ○高橋 ⇔ 高橋
○齋藤 ⇔ 齊藤
前者の場合は全て前者に統一する。（略さない）

【事務担当者へ】

- * 「論文目録」様式の欄外に、右の確認照合を付すこと。
- * 担当者は、本様式にて記載された論文目録等における各項目（氏名、題名等）の照合を行い、空欄に、確認印を押印すること。

確認照合者印	
主論文自著確認	
論文目録照合	

様式2 論文目録の記入要領 (甲・乙共通)

記載例

論 文 目 録		注1																																				
		<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="padding: 2px;">区 分</td> <td style="padding: 2px;">甲 乙</td> </tr> </table>	区 分	甲 乙																																		
区 分	甲 乙																																					
氏 名	○○○○	注2																																				
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; padding: 5px;">主 論 文</td> <td style="padding: 5px;">1編 1冊</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">題 名</td> <td style="padding: 5px;">○○○○・・・・</td> <td style="text-align: center;">注3</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="padding: 5px;"> 大部は、○○雑誌 第○巻 第○号 (平成○○年○月○○日) に公表済 : : 残部は、○○雑誌 第○巻 第○号 (原稿枚数○○枚) (平成○○年○月○○日) 掲載サイト○○ <u>http://○○○</u> (原稿枚数○○枚) (平成○○年○月○○日) : に公表予定 </td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: right; padding: 5px;">注4</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="padding: 5px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; padding: 5px;">参考論文</td> <td style="padding: 5px;">○編 ○冊</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">題 名</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">1. ○○○○・・・・</td> <td style="padding: 5px;">○○雑誌 第○巻 第○号</td> <td style="padding: 5px;">(平成○○年○月○○日)</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="padding: 5px;">共著者○○○○</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">2. ○○○○・・・・</td> <td style="padding: 5px;">掲載サイト○○ <u>http://○○○</u></td> <td style="padding: 5px;">(平成○○年○月○○日)</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="padding: 5px;">共著者○○○○</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: right; padding: 5px;">注5</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>			主 論 文	1編 1冊		題 名	○○○○・・・・	注3	大部は、○○雑誌 第○巻 第○号 (平成○○年○月○○日) に公表済 : : 残部は、○○雑誌 第○巻 第○号 (原稿枚数○○枚) (平成○○年○月○○日) 掲載サイト○○ <u>http://○○○</u> (原稿枚数○○枚) (平成○○年○月○○日) : に公表予定			注4			<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; padding: 5px;">参考論文</td> <td style="padding: 5px;">○編 ○冊</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">題 名</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">1. ○○○○・・・・</td> <td style="padding: 5px;">○○雑誌 第○巻 第○号</td> <td style="padding: 5px;">(平成○○年○月○○日)</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="padding: 5px;">共著者○○○○</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">2. ○○○○・・・・</td> <td style="padding: 5px;">掲載サイト○○ <u>http://○○○</u></td> <td style="padding: 5px;">(平成○○年○月○○日)</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="padding: 5px;">共著者○○○○</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: right; padding: 5px;">注5</td> </tr> </table>			参考論文	○編 ○冊		題 名			1. ○○○○・・・・	○○雑誌 第○巻 第○号	(平成○○年○月○○日)		共著者○○○○		2. ○○○○・・・・	掲載サイト○○ <u>http://○○○</u>	(平成○○年○月○○日)		共著者○○○○		注5		
主 論 文	1編 1冊																																					
題 名	○○○○・・・・	注3																																				
大部は、○○雑誌 第○巻 第○号 (平成○○年○月○○日) に公表済 : : 残部は、○○雑誌 第○巻 第○号 (原稿枚数○○枚) (平成○○年○月○○日) 掲載サイト○○ <u>http://○○○</u> (原稿枚数○○枚) (平成○○年○月○○日) : に公表予定																																						
注4																																						
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; padding: 5px;">参考論文</td> <td style="padding: 5px;">○編 ○冊</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">題 名</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">1. ○○○○・・・・</td> <td style="padding: 5px;">○○雑誌 第○巻 第○号</td> <td style="padding: 5px;">(平成○○年○月○○日)</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="padding: 5px;">共著者○○○○</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">2. ○○○○・・・・</td> <td style="padding: 5px;">掲載サイト○○ <u>http://○○○</u></td> <td style="padding: 5px;">(平成○○年○月○○日)</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="padding: 5px;">共著者○○○○</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: right; padding: 5px;">注5</td> </tr> </table>			参考論文	○編 ○冊		題 名			1. ○○○○・・・・	○○雑誌 第○巻 第○号	(平成○○年○月○○日)		共著者○○○○		2. ○○○○・・・・	掲載サイト○○ <u>http://○○○</u>	(平成○○年○月○○日)		共著者○○○○		注5																	
参考論文	○編 ○冊																																					
題 名																																						
1. ○○○○・・・・	○○雑誌 第○巻 第○号	(平成○○年○月○○日)																																				
	共著者○○○○																																					
2. ○○○○・・・・	掲載サイト○○ <u>http://○○○</u>	(平成○○年○月○○日)																																				
	共著者○○○○																																					
注5																																						

注1 区分のいずれかに○印を付す。

注2 履歴書記載の氏名と照合する。外国人の場合、カタカナ表記(漢字圏の学生は漢字)で記入する。
 ※ 氏名の順番等は、パスポートや在留カードと照合、学籍氏名も含めてできるだけ統一させる。

注3 主論文等の題名と照合する。外国語の場合、字体・文字の大小について統一させ、和訳を()カッコ書きで付記する。

注4 主論文

- ・ 公表年月順に列記する。
- ・ 未公表の論文の場合は、公表の「方法」「時期」「原稿枚数」を記入する。
- ・ 公表または公表予定がない場合、投稿予定を記載する。
- ・ 公表予定を記載する場合は、公表時期が決まり次第連絡すること。

注5 参考論文

- ・ 公表年月順に列記する。
- ・ 参考論文を添付しない場合は、「なし」と記入すること。
- ・ 参考論文がインターネット上のみで公表されるものを記載する場合は、「掲載されるサイトの名称」「URL」「公表の時期」「共著者名」を記載すること。

様式4 「履歴書」作成に係る留意事項（甲・乙共通）

氏名

- 1) PC・ワープロ等で出力されない異体字等が含まれる場合は、氏名を手書きで記載する。
- 2) 外国人氏名については、カタカナ・アルファベット・漢字（漢字圏の学生のみ）を記載する。
（氏名の順番等は、パスポートや在留カードと照合し、学籍氏名も含めてできるだけ統一させる。）

（例）

①中国・韓国等（漢字表記）の方	②欧米等（アルファベット表記）の方
ホァンツ ウェイ（カタカナ） 黄 志 偉（漢字） Hyang Chih Wei（アルファベット）	モハメッド アブドゥル マジード（カタカナ） Mohammed Abdul Mazeed（アルファベット）

生年月日

→ 「和暦」及び「西暦」を記載する。例：昭和51（1976）年1月1日

本籍（都道府県）

- 都道府県名（外国人は国籍（国名））のみを記載する。
国名は、在留カードにある国名を原則とする。
中華人民共和国→「中国」、大韓民国→「韓国」等

現住所

- 住民票に記載されている住所を（郵便番号）及び都道府県名から記載する。
郵便番号、団地名、宿舍名、番号等を正確に記載すること。また、提出後変更があった場合は、速やかに届け出ること。

学歴

- 1) 新制大学卒業以後または最終学歴から、年月日の順を追って正確に記載すること。
- 2) 入学・修了等の年月日に合わせて、大学・学部・学科名、大学院・専攻・修士課程・博士課程・博士後期課程の別を記載する。
- 3) 本学における大学院入学・進学の区分に注意する。（→様式1-1の説明を参照。）
在籍中の場合は、「現在に至る」とし、中途退学は「退学」、単位修得の上退学は「単位修得退学」と記載する。
- 4) 本学大学院研究科の再編時期について、以下、注意すること。
昭和60年度入学者（～S61.3.31）まで「医学研究科」、それ以降は「医学系研究科」
平成11年度入学者（～H12.3.31）まで「研究科」、それ以降は「学府」
- 5) 研究生歴は学歴に含めない（研究歴に含める）。

職歴

- 1) 年月日の順を追って、採用・退職等を記載する。
在職中の場合は、最後に「現在に至る」を記載する。

- 2) 常勤の職について記入する。
但し、非常勤の職であっても、特に研究に関するものについては記載できる。
- 3) 職歴がない場合は、「なし」と記載する。
- 4) 日本学術振興会特別研究員の採用期間は、職歴に記載し、研究歴では大学院在籍の形で記載する。
- 5) 在職中の会社や組織の名称変更がある場合は、以下のように記載する。

(例)「△△会社(旧名××会社 平成●年●月●日社名変更)」
「××会社(平成●年●月●日△△会社に名称変更)等

※「九州大学医学部・歯学部・生体防御医学研究所附属病院(呼称：九州大学病院)」の名称は、平成15年10月から使用。

研究歴

- 1) 研究した事項とその期間を明記すること。学歴又は職歴に記載した期間中に研究歴に当たるものがある場合は、それについても記入すること。
- 2) 修士課程の期間から研究歴に含めることができるが、学部は含めない。
但し、研究生の期間を含めることができる。その際、「研究生として」を必ず記載する。
 - 3) 同一研究歴が複数の組織にまたがる場合は、組織名を「及び」で結んでまとめて記載しても良い。
(例)九州大学大学院工学府および日立製作所中央研究所において、△△△に関する研究
 - 4) 研究継続中の場合は、「現在まで」と記載する。
 - 5) RA(リサーチアシスタント)は研究歴に含めることもあるが、在籍中の雇用については、研究歴に含める必要がない。(TAは研究と関係ないので含めない。)
 - 6) 個人的に研究室にて指導を受けた場合については、研究歴に含むことができない。(研究生として在籍すべき)

様式4 履歴書の記入要領 (甲・乙 共通)

記載例

*区分及び性別は、いずれかに
○印を付してください。

履 歴 書

区 分 甲 乙

ふりがな 氏 名 生年月日	<p>*外国人氏名の場合、カタカナ・アルファベット・漢字で記載する。 (例) ホァンツ ウェイ モハメッド アブドゥル マジード 黄 志 偉 Mohammed Abdul Mazeed Hyang Chih Wei</p> <p>*生年月日 和暦及び西暦で記載する。</p>	男 <input checked="" type="radio"/> 女
本 籍 (都道府県名)	<p>*都道府県名のみを記載 *外国人の場合は、国名を記載する。(在留カードにある国名等)</p>	
現 住 所	〒□□□-□□□□ *正確な住所を記載する。	
学 歴	<p>平成 14 年 3 月 25 日 九州大学△学部卒業</p> <p>平成 14 年 4 月 1 日 九州大学大学院△学府△△専攻修士課程入学</p> <p>平成 16 年 3 月 25 日 同上 修了</p> <p>平成 19 年 4 月 1 日 九州大学大学院○学府○○専攻博士後期課程編入学</p> <p>現在に至る</p> <p>新制大学卒業または最終学歴から順に記載する。(前歴は不要)</p> <p>*九州大学における大学院入学・進学の区分に注意。 *平成 11 年度入学者まで「研究科」、平成 12 年度以降「学府」と記載する。 *中途退学=「退学」、単位修得の上退学=「単位修得退学」と記載する。 *<u>研究生歴は学歴に記入しない</u> (研究歴に含める)。</p>	
職 歴	<p>平成 16 年 4 月 1 日 ××株式会社 採用</p> <p>平成 17 年 4 月 1 日 ◎◎株式会社(旧名××会社 平成 16 年 10 月 1 日社名変更) ○○研究所 配置換</p> <p>平成 18 年 3 月 31 日 同上 退職</p> <p>平成 20 年 4 月 1 日 日本学術振興会特別研究員採用</p> <p>現在に至る</p> <p>*日本学術振興会特別研究員の期間は、職歴に記載し、研究歴では大学院在籍の形で記載する。</p>	
研究歴	<p>平成 14 年 4 月 1 日 } 九州大学大学院△学府において、○○について研究</p> <p>平成 16 年 3 月 25 日 }</p> <p>平成 17 年 4 月 1 日 } ◎◎株式会社○○研究所において、○○について研究</p> <p>平成 18 年 3 月 31 日 }</p> <p>平成 18 年 4 月 1 日 } 九州大学大学院○学府において、研究生として○○について研究</p> <p>平成 19 年 3 月 31 日 }</p> <p>平成 19 年 4 月 1 日 } 九州大学大学院○学府において、○○について研究</p> <p>現在まで }</p> <p>上記のとおり相違ありません。 平成 21 年 2 月 15 日</p> <p>*研究した事項とその期間を明記する。 *学歴及び職歴に記載した期間中に研究歴に該当する場合は記載する。</p>	
年月日を記入する	氏 名 ○○ ○○ 印	

学位記表記文字等について

<p><学位記及び和文証明書用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本人・漢字圏の学生名の場合→漢字表記 ・漢字圏以外の学生名の場合→カタカナ表記 ・外国人留学生の場合は、姓名の区切りに斜線を記入する 	<p>高橋 太郎 (日本人学生)</p> <p>华 / 雪峰 (留学生)</p>
<p><英文証明書用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・英文表記、活字体で記入する ・パスポート、在留カード等に従う 	<p>Taro Takahashi (日本人学生)</p> <p>Hua Xuefeng (留学生)</p>
<p><フリガナ></p>	<p>タカハシ タロウ (日本人学生)</p> <p>カ セツホウ (留学生)</p>
<p>授与決定通知 送付先住所</p>	<p>〒XXX-XXXX 福岡市東区箱崎〇-〇-〇</p> <p>【学内への発送希望の場合】</p> <p><学内便></p> <p>九州大学〇学部1号館〇階 〇〇〇〇学研究室</p>

*各項目を正確に漏れなく記載のうえ、提出願います。

*学位授与証明書は、上記氏名で発行します。

*氏名にPC・ワープロ等で出力されない異体字等が含まれる場合は、手書きで記載願います。

*旧姓使用又は通称名使用に伴い、学位記に記載する氏名を上記氏名と異なる表記とする場合は、「学位記記載の氏名表記届」を併せて提出願います。

*英文証明書用の氏名は、日本人学生については名→姓の順番で頭文字のみ大文字に統一します。

例) 九大 太郎 → Taro Kyudai

*授与決定通知は、学位授与が決定次第、上記記載住所に送付します。

(海外の場合は、申請学府へ通知)